

H28.6.24 「広報きたかみ」より

まだ5月だというのに真夏のようない日差しが突き刺さる暑い日、40周年を記念する和賀江嶋清掃活動にご招待をいただき、20人ほどの北上市民と共に参加させていただいた。この活動と北上市との関わりは和賀江嶋と和賀氏とのつながりによる。

和賀江嶋は、鎌倉市材木座海岸にある日本に現存する最古の港湾遺跡である。

1232年、鎌倉幕府の許可を得て築港された、主に木材の積み降ろしのための港であるが、今は崩れた石積みが湾に突き出て、干潮時にだけ見

うことができる。和賀の名前の由来は、大正13年に、鎌倉町青年団によって建てられた

碑によると、材木座になる前地名が「和賀」だったことに

感心した今回の鎌倉訪問であつた。

和賀氏のルーツや和賀といふ名称の起源という歴史推理の楽しみもさることながら、和賀江嶋を通して、また新たな市民交流に発展しそうな予兆を感じた今回の鎌倉訪問で

まだ5月だというのに真夏のようない日差しが突き刺さる暑い日、40周年を記念する和賀江嶋清掃活動にご招待をいただき、20人ほどの北上市民と共に参加させていただいた。この活動と北上市との関わりは和賀江嶋と和賀氏とのつながりによる。

和賀江嶋清掃活動にご招待をいただき、20人ほどの北上市民と共に参加させていただいた。

和賀江嶋清掃活動にご招待をいただき、20人ほどの北上市民と共に参加させていただいた。

和賀江嶋清掃活動にご招待をいただき、20人ほどの北上市民と共に参加させていただいた。

和賀江嶋清掃活動にご招待をいただき、20人ほどの北上市民と共に参加させていただいた。

和賀江嶋清掃活動にご招待をいただき、20人ほどの北上市民と共に参加させていただいた。

和賀江嶋清掃活動にご招待をいただき、20人ほどの北上市民と共に参加させていただいた。



## 鎌倉の和賀江嶋

港に協力した執権北條氏の臣団の中に和賀氏につながる人物がいたとの言い伝えもある。鎌倉市の市章はご存知、 笠龍胆。和賀氏の家紋も笠龍胆。国の重要無形文化財鬼劍舞が胸に付けている家紋も笠龍胆である。地名、家紋いずれも何らかのつながりがあるものと推測されることから、和賀氏に関わりの深い市民がこの活動に関わり始めたようである。

近年はこのつながりを大切にしようという動きが広がり、昨年、今年と連続で鬼劍舞を鎌倉市民に披露し、大変好評を得ている。清掃活動には松尾鎌倉市長や国会議員、県議会議員なども参加して40周年の節目にふさわしいイベントであった。ちなみに、松尾市長は東日本大震災の直後、自らボランティアをするために当市経由で沿岸被災地に行っている。

和賀江嶋は、鎌倉市材木座海岸にある日本に現存する最古の港湾遺跡である。

1232年、鎌倉幕府の許可を得て築港された、主に木材

の積み降ろしのための港であるが、今は崩れた石積みが湾

きたかみ 第608号

- 9 -

2016年(平成28年)7月1日

第448号

朝 倉 日 より

## 和賀江島清掃活動40回 市民や交流団体ら430人が参加



鎌倉市材木座海岸の東端に位置する国指定史跡で日本最古の築港遺跡「和賀江島」の清掃保全活動が5月22日に行われた。写真。40回目の今年は、例年の倍を超える約430人が参加。

住民や商店会、鎌倉岩手県人会(早川正行会長)、和賀江島築港に奥州の和賀盛綱が関わった縁で1995年から参加している岩手県の北上市和賀江島清掃団(佐藤克英代表)

12人が加わり、高橋敏彦北上市長も初来訪。軽トラック1台分のごみの回収後、鎌倉時代から伝わる「天王唄」を歌う材木座天王唄保存会に続いてきた材木座自治連合会の倉橋明弘会長(82)は、「皆様に喜んでいただけた」と感想。会員の「この清掃活動を文化として発信していきたい」と展望を語った。(K)

き、御免町鬼劍舞保存会(藤田勇夫庭元)の15人が国指定重要無形文化財「鬼劍舞」の4演目を披露し、大きな拍手が贈られた。景品が当たるくじ引きも好評で、地元商店会